

白杵市 施策評価シート
(令和2年度)

評価 担当者	課名	氏名	内線
	文化・文化財課	後藤 昌二郎	3120

コード	V-15-33	施策名	歴史・文化遺産の保存・活用・継承
施策の 方針	文化を守り伝える		
まちづくり の方針	磨き輝き続ける市民がつながり、白杵っこが育つまち(学び)		
5年後の めざす姿	<ul style="list-style-type: none"> ・「国宝・特別史跡白杵磨崖仏」や「国史跡下藤キリシタン墓地」などの文化財は、大切な文化遺産として保存・活用を行います。 ・白杵の歴史や文化・風土についても大切な文化資源・観光資源として保存対策を行いながら魅力ある資源として活用できるよう後世へ継承します。 ・「祈りの回廊」構想として「仏教遺産」と「キリシタン文化遺産」をつなげ、情報発信により観光振興を図ります。 ・白杵の将来を担う子どもたちが、白杵の文化や歴史と出会い・ふれ合える学習環境の充実に回り、人材育成につなげていきます。 		
施策の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・未指定文化財を含む文化財の保存・活用に関する総合的な計画である「白杵市文化財保存活用地域計画」を策定し、文化財の保存対策を図りながら、公開活用を図ります。 ・主な文化財についても個別の「保存整備基本計画」を策定し、保存活用に努めます。 ・白杵市所蔵の歴史資料や考古遺物について、積極的に公開に努め多くの人が学べる体制を整備します。 ・管理が困難となった文化財の管理を行う「歴史の守り人」制度を設立し、文化財の保存活用を図ります。 ・「祈りの回廊」構想の実現に向けた計画に取り組み、文化振興・観光振興を図ります。 ・「白杵っこガイド」、「白杵っこ学芸員」については、各学校と連携し講習希望者の増加を図り、郷土愛もてる人材を育てます。 		

<指標>

新規 指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移					
				R1	R2	R3	R4	R5	R6
	白杵市歴史資料館の年間入館者数	歴史資料館日誌	人	4,118	7,100	7,700	8,300	8,900	9,500
	「歴史の守り人」の育成	「歴史の守り人」認定名簿人数	人	0	5	10	15	20	25
	文化財公開の推進	文化財の歴史資料館や文化財管理センターにおける文化財の公開件数(単年度毎)	件数	309	450	450	450	450	450
	白杵っこガイド・学芸員数	年度毎の各認定者数の合計	人	11	20	20	20	20	20

指標の分析	<p>歴史資料館では、白杵の歴史が見える通史展示と企画展示をしていますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で閉館した期間があり、また移動制限等で入館者が大きく減少しました。入館者増加のため、魅力ある企画展示や効果的なPR方法を検討する必要があります。</p> <p>文化財公開点数については、歴史資料館の企画展示等で多くの資料を展示するよう工夫をしながら努めました。</p> <p>「白杵っこ検定受験者」については、本年度は学校開催などの対応により増加し、「白杵っこガイド」、「白杵っこ学芸員」の要件となる合格者も増加しました。</p>
-------	--

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度	満足度
市民意識調査結果(R2調査)	見直し領域	2.40	2.09	2.00
市民意識調査結果分析	令和2年度アンケート結果の「見直し領域」により位置しており、文化財の保護や保存活用に対する啓発や学習活動を学校と連携する必要があります。			2.65

<次年度以降の課題>

令和3年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「白杵市文化財保存活用地域計画」の策定については、本市の上位計画や関連計画と整合性を取り、策定作業を進める必要があります。 ・白杵市所蔵の歴史資料の積極的な公開のため、歴史資料館と文化財管理センターの運営管理について検討する必要があります。 ・「祈りの回廊」構想の実現に向けた計画は、関連部局と連携し、文化振興・観光振興に取り組みます。 ・「白杵っこガイド」、「白杵っこ学芸員」については、各学校と連携し講習希望者の増加を図り、郷土愛もてる人材を育てます。
------------	--

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長 評価	公共 の 年	他の 関連施策 コード
				R1年度 実績	R2年度 実績	R3年度 見込み			
1 国宝(美術工芸品)白杵磨崖仏防犯カメラ設置事業	白杵磨崖仏の防犯カメラシステムの整備	文化・文化財課	○	-	22,569	-	継続	○	
2 国史跡下藤キリシタン墓地保存活用計画策定事業	下藤キリシタン墓地について、保存と活用の方針となる計画の策定	文化・文化財課	○	1,732	580	2,457	重点継続	○	
3 国宝(美術工芸品)白杵磨崖仏保存活用計画策定事業	白杵磨崖仏について、保存と活用の方針となる計画の策定	文化・文化財課	○	-	2,517	-	重点継続	○	
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計				1,732	25,666	2,457			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	過疎化・少子高齢化などを背景に、文化財の滅失や散逸等の防止が緊急の課題となり、未指定を含めた文化財をまちづくりに活かしつつ、地域社会総がかりで、その継承に取り組んでいくことが必要ことから文化財保護法が一部改正されました。本市においても、文化財の保存・活用に関する課題や方針を整理し取り組んでいくことが必要となることから、保存活用地域計画の策定に取り組みつつ、各文化財の保存活用計画の策定を進めていきます。	課長評価	目標を達するため、現状維持とする
------	--	------	------------------

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)> ※以降の評価は、令和3年度~令和5年度の3カ年に分けて実施予定。

実施年度	内部評価
令和5年度 実施予定	-

<白杵市行政活性化推進委員会による外部評価:最終>

評価のコメント	外部評価
	-

<白杵市行政活性化推進委員会を受けての市の取組>

--